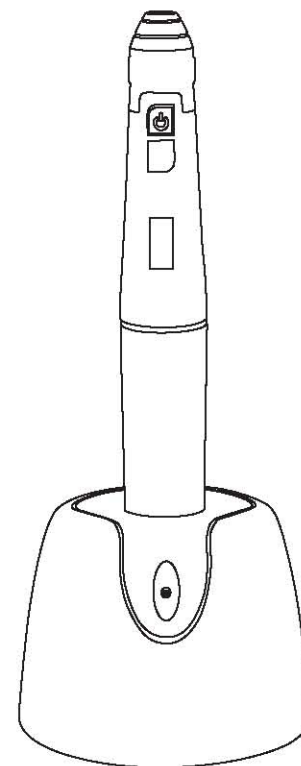


充填システム

ユーザーガイド

αパック



安全上の注意

- △ 注意：本製品をご使用になる前に、以下の情報を必ず最後までお読みください。
1. 純正のバッテリー以外は絶対に使用しないでください。使用すると重大な損傷を引き起こす恐れがあります。
 2. ペンチップ、アダプター、バッテリーなど、当社純正の付属品をご使用ください。
 3. 施術中はペン先の温度が非常に高くなります。火傷を防ぐため、口腔内の軟組織に直接触れないようにしてください。
 4. 本製品は清潔に保ってください。
 5. 心臓ペースメーカーを装着している患者には、本製品を使用しないでください。

標準構成

充填ペン	1
充填ベース	1
アダプター	1
電池	2
レンチ	1
ペン先 (4個入り)	1

ペン先サイズ／テーパー

F：#45/02 FM：#50/04 M：#55/06 ML：#55/08

使用目的

1. 本充填ペンは、根管（主に根尖部）の充填におけるガッタパーチャの垂直圧密をサポートします。
2. 本製品は、訓練を受けた歯科医師のみが、診療所または歯科技工所でのみ使用することを目的としています。

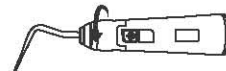
構成および設置

本製品は、ペン先、充填ペン、バッテリー、充電ベース、およびアダプターで構成されています。

ペンチップと電池の取り付け



緩い

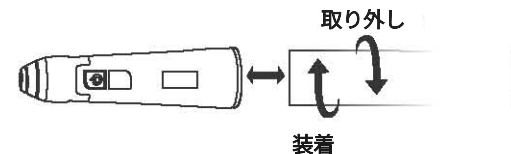


きつい

1

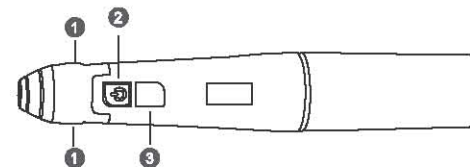
警告：

ペン先を取り付けるまでは、本機の電源を切ったままにしてください。



使用方法

機能



① 加熱ボタン ② 電源ボタン ③ 機能ボタン

1. 電源ボタン②を1秒以上長押しして本機の電源を入れ、もう一度長押しして電源を切ります。
2. 電源ボタン②を短く押して、ホットニードルのサイズ（MF、F、M、ML）を選択します。
3. 機能ボタン③を押して、温度を設定します：160℃、180℃、200℃、230℃
4. 任意の加熱ボタン①を押すと加熱が開始され、指を離すと加熱が停止します。ホットニードルは、約5秒間の加熱後に設定温度に達します。

△ 注意事項

ガッタパーチャを大量に使用する場合は、設定温度を230℃に上げてください。

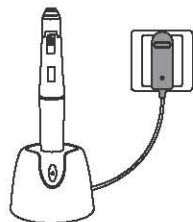
使用上の注意

1. 過熱を防ぐため、30秒以上加熱を続けると、装置は自動的に停止し、保護モードに入ります。加熱を継続するには、保護モード中にボタンを離し、再度ボタンを押してください。

2. 省電力のため、2分間操作がないと本機は自動的に電源が切れます。

2

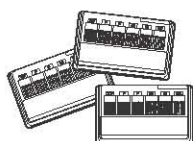
充電



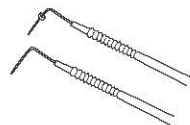
1. デバイスの電圧が低下すると、画面に「LO」と表示され、同時に点滅が始まります。その後、5秒後に自動的に電源が切れますので、充電するか、バッテリーを交換してください。
2. 5Vアダプターを充電ベースに接続すると、緑色のランプが点灯します。その後、本体を充電ベースに置くと、黄色のランプが点灯し、充電が開始されます。緑色のランプが再び点灯したら、バッテリーが満充電になったことを示します。

臨床使用

① 形成－ガッタパーチャポイント

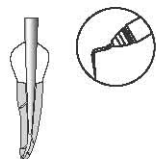


② 準備－ハンドプラグガー



ガッタパーチャを圧縮するためにプラグガーを2～3本用意し、ゴムストッパーで根管の長さをマークする。

③ ペンチップの形成



根管に適したペンチップを選択する。

④ 根管の乾燥



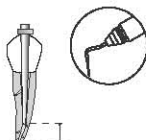
ペーパーポイントを用いて根管を乾燥させる。

⑤ ガッタパーチャの先端を選択する



根管に合った適切なガッタパーチャポイントを選び、引き戻しがあるか確認してください。

⑥ ペン先の長さを印をつける



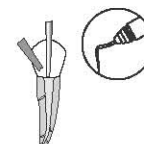
適切なペンチップとプラグガーを選択してください。チップの長さは作業長より4～6mm短くし、ゴムストッパーで長さを印をつけてください。

⑦ ガッタパーチャポイントの挿入



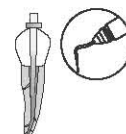
先端から3mmの範囲にシーラーを塗布し、ポンピング動作で根管に挿入します。

⑧ 余分なガッタパーチャの除去



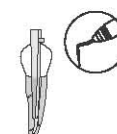
ペン先で余分なガッタパーチャを切り取ります。

⑨ 加熱および挿入



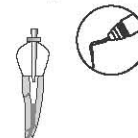
ガッタパーチャを付けたペン先を加熱し、作業長より4～6mm短くなる位置まで挿入する。

⑩ 圧密



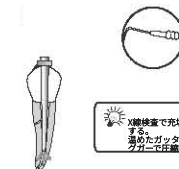
加熱を止め、約10秒間圧力を維持する。

⑪ ペンチップの除去



ペン先からガッタパーチャと一緒に飛び出さないよう、ペン先を1～2秒間加熱してから取り外す。

⑫ 圧縮



温めたガッタパーチャをプラグガーで圧縮する。

トラブルシューティング

1. ペンチップが正常に動作しない場合は、取り付けが確実かどうかを確認してください。それでも改善しない場合は、新しいペンチップに交換してください。
2. 充電中に充電ベースのLEDインジケーターが点灯しない場合は、充電ベースが電源に正しく接続されているか確認してください。

洗浄および滅菌

- 表面は、柔らかいタオルと中性洗剤、または消毒用アルコールで洗浄できます。
- 患者ごとに、また損傷が確認された場合やその疑いがある場合は、ペン先を交換することを推奨します。使用済みの針はバイオハザード用容器に廃棄してください。
- 針および熱保護カバーは、初回使用前および患者ごとに滅菌する必要があります。オートクレーブで121℃で15分間、または135℃で4分間滅菌してください。

保管および輸送

- 保管温度：-10℃～+55℃
- 湿度：10%RH～85%RH
- 気圧：86kPa～106kPa

保証

本機器の保証期間は1年間、バッテリーおよびアダプターは6ヶ月間です。その他の付属品は保証の対象外となります。

技術仕様

アダプタ	入力：100～240V AC 50/60Hz
ー：	出力：DC 5V/2A
バッテリー：	DC 3.7V/2600mAh
動作	温度：0°～45℃
湿度：	10%RH～75%RH
大気圧：	50%RH～106%RH

記号の定義



クラスII機器（アダプター）



直流



この面を上にしてください



壊れやすいので、取り扱いには注意してください



雨にさらさないでください



B型機器



注意！取扱説明書をお読みください



屋内専用



WEEE

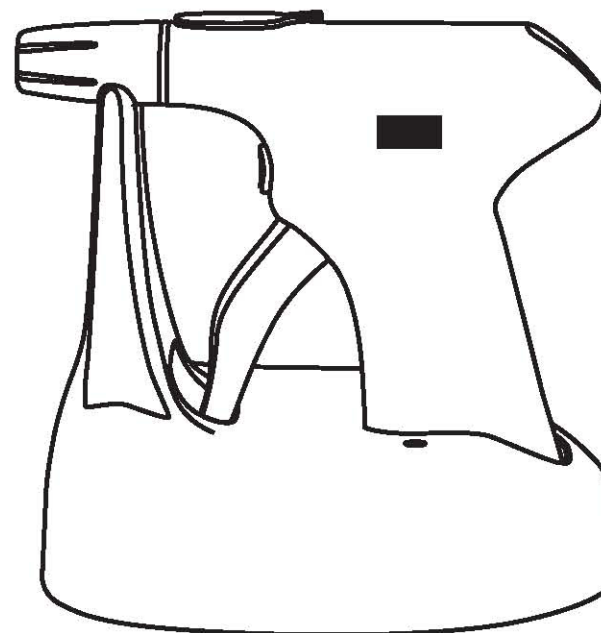


取扱説明書をご参照ください

閉鎖システム

ユーザーガイド

βパック



安全上の注意

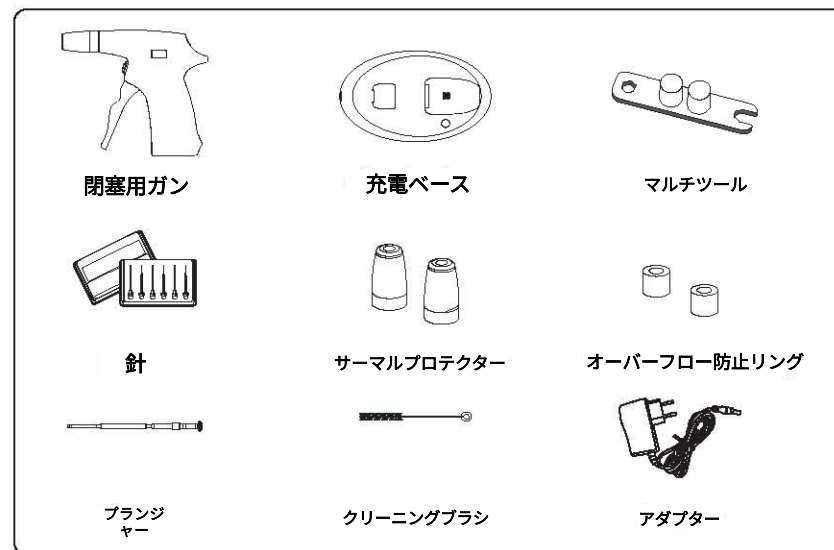
⚠注意：

本製品をご使用になる前に、付属のすべての取扱説明書をお読みください。

- 本製品は歯科医療従事者のみが使用できます。
- 施術中は針の温度が非常に高くなります。火傷を防ぐため、口腔内の軟組織に直接触れないようにしてください。
- 爆発の危険性を低減するため、可燃性の麻酔薬が存在する場所や、爆発の危険がある場所では使用しないでください。
- 本機器を周囲の電磁干渉から保護してください。心臓ペースメーカーを使用している患者がいる場合、または電子機器が稼働している場所では、本機器をその付近に置かないでください。
- 他のチップや付属品を使用すると、機器の破損、怪我、または性能低下を引き起こす可能性があり、保証が無効となります。

標準構成

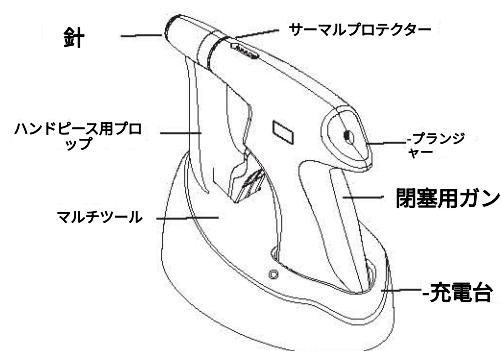
根管充填用ガン	1
アダプター	1
充電ベース	1
マルチツール	1
ハンドピース用スタンド	1
針	4
サーマルプロテクター	2
オーバーフロー防止リング	10
ブランジャー	1
クリーニングブラシ	1

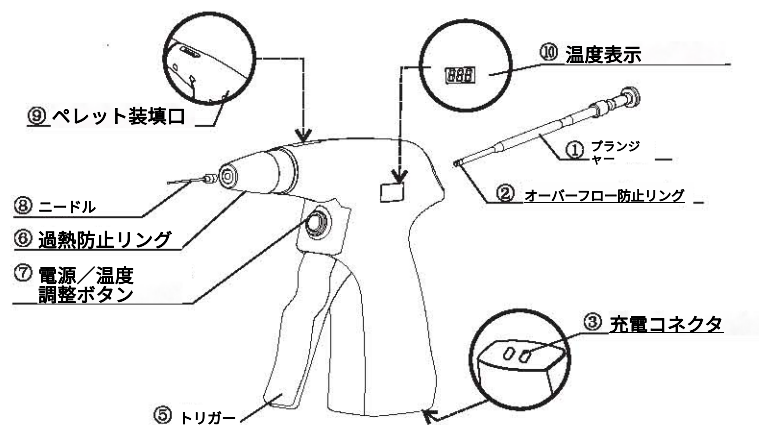


使用目的

オピュレーションガンは、根管充填のために、準備された根管内にガッタパーチャを注入することを目的としています。本製品は、歯科専門家のみが使用できます。

製品説明



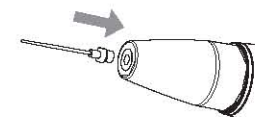


- ①プランジャー：ステンレス製のプランジャーは何度も再利用できますが、最終的には交換が必要になります。交換用部品のご購入については、正規販売店にお問い合わせください。
- ②オーバーフロー防止リング：ガッタパーチャの溢れを防ぎます。
- ③充電コネクタ：オブリケーションガンと充電ベースを接続します。
- ④トリガー：繰り返し引いて、ガッタパーチャのペレットを押し出します。
- ⑤過熱防止装置：本体を掴んで360度回転させるだけです。過熱防止装置は、患者を有害な熱から保護します。
- ⑥電源/温度調整ボタン：長押しで電源のオン/オフを切り替えます。ボタンを押して、160℃/180℃/200℃/230℃の各温度設定を切り替えます。
- ⑦ニードル：溶けたガッタパーチャはニードルの先端から押し出されます。
- ⑧ ペレット投入口：ガッタパーチャのペレットをペレット投入口に挿入します。
- ⑨温度表示窓。

設置と使用方法

△注意：火傷の危険を減らすため、ニードルやプロテクターを交換する前に、ガンの電源が切れてから少なくとも5分間経過し、ノズルが触っても熱くないことを確認してください。

1. 希望の針を選び、組み立てます。

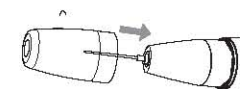


2. ニードルベンダー／レンチを使用して、針を固定しながら時計回りに回します。

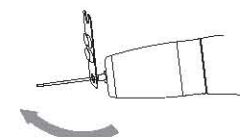
△注意：
締めすぎないでください！



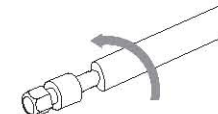
3. 過熱防止装置を取り付けます。



4. ニードルベンダーを使用して、針を好みの形状に曲げてください。



5. オーバーフロー防止リングを取り付けます。

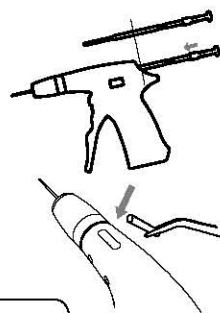


!注意：

- オーバーフロー防止リングは消耗部品です。摩耗や破損があると、詰まりや逆流の原因となります。常に破損がないか確認してください。
- プランジャースクリューを締めすぎないでください。締めすぎるとリングが収縮し、永久的な損傷を引き起こします。

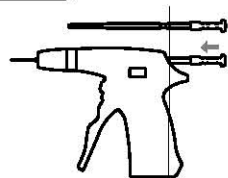
6. ペレットをベータに挿入するには、プランジャーを引き戻して（ただし、ガンから引き抜かないでください）、装填スロットを空けてください。

7. ガンの前部を下げ、針が床に向かって斜めになるように傾けます。装填スロット内にペレットをセットします。



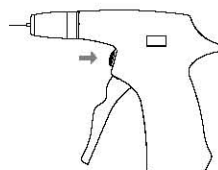
⚠ 注意：
一度に挿入できるペレットは1個のみです。ガッタバーチャペレットの融点は20℃未満でなければなりません。

8. プランジャーを使用して、ペレットが加熱室に入るまで前方に押し出します。図に示す位置までプランジャーを前進させ、ペレットを加熱室に完全に押し込みます。

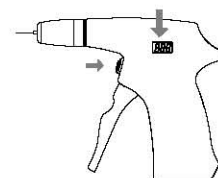


⚠ 注意：
プランジャーを完全に挿入しないと、トリガー前進機構が正常に動作しなくなります。

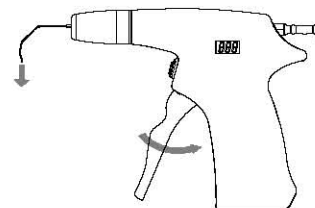
9. 電源スイッチを入れます。温度は、Betaの電源を切る前に使用されていた前回の設定温度に自動的に戻ります。



10. 希望の温度に変更するには、希望の温度が表示されるまで電源/温度調整ボタンを押し続けてください。ボタンを押すたびに、温度表示は次のように段階的に変化します：160℃→180℃→200℃→230℃、その後再び160℃に戻ります（推奨設定温度は180℃または200℃です）。



11. 希望の温度を選択すると、温度表示に実際の温度が表示され始め、希望の温度に達するまで変化し続けます。トリガーを引いてプランジャーをさらに前進させ、ニードルの先端から少量の材料が押し出されるまで操作してください。



⚠ 注意：

- ・ プランジャーがガン内部にある状態で、プランジャーを強く押ししたり引いたりしないでください。ペレットの材料が所定の温度まで温まったら、トリガーを数回引くことでプランジャーが前進するはずですが、前進しない場合は、軽い力でプランジャーを手動で前進させてから、再度試してください。
- ・ ガン内の残りの材料をすべて排出するには、ニードルを取り外し、トリガーを数回引いてプランジャーを加熱されたガンの先端から押し出し、残留材料を絞り出してください。
- ・ 先端部とプランジャーが十分に冷却されるまでは、触れないよう注意してください。
- ・ オーバーフローリングが摩耗または破損している場合は、速やかに交換してください。サーマルプロテクターは、初回使用前および患者ごとに滅菌する必要があります。

12. 本機は、15分間使用しないと自動的に発熱体を停止します。

13 温度表示窓に「LO」と「bibi」のアラームが表示された場合は、バッテリー残量が危険なレベルにあることを示しています。充電してください。

14.リセット機能：

ボタンを押して離すと、本機がリセットされます。本機の不具合やエラーが発生した場合にご利用ください。

ボタンを押している間は本機は動作しません。ボタンを離すと電源が入ります。

15. 充電：

- ハンドピースを充電ベースに差し込んでください。
- 充電ベースを付属の電源コードに接続し、コードを標準的なコンセントに差し込んでください。

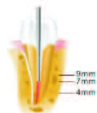


△注意：

本機器を受け取った直後、および初回使用前に、バッテリーを完全に充電してください。

16.ガンの底面にあるコネクタが充電ベースのコネクタに確実に嵌合するように、本機を充電ベースに設置してください。LEDが点灯すれば、ガンは正しく接続されています。ガンのLEDが点灯しない場合は、すべての接続を確認してください。緑色の充電インジケータが点灯すれば、本機は完全に充電されています。

臨床使用

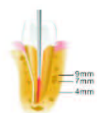


1. ガンの針を、根管内の充填済みのマスターコーンの上部に接触させ、3～5秒間熱を伝えます。

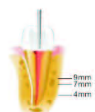
2.



3. 針を根管から引き抜きながら、流し込みを続けます。



溶けたガッタパーチャ・オブリーターターを根管内に送り込みます。



4. これで根管全体が完全に充填されました。

トラブルシューティング

1. 電源スイッチを押してもガンが起動しない場合。

- バッテリーが充電されているか確認してください。必要に応じて再充電してください。
- リセットスイッチが押されていないか確認し、押されている場合は離してください。

2. ブランジャーが引き込めない。

- ブランジャーが引き込めない場合は、ブランジャーをチャンバーに入れたままにしたため、チャンバー内の材料が冷却・固化していることが原因である可能性が高いです。
- ブランジャーを取り外すには、ガンの電源を入れ、温度を200℃に設定してください。ガンが設定温度に達するのを待ってから、ブランジャーを引っ込みましょう。
- それでもブランジャーが引き戻せない場合は、ガンを冷却してからニードルを取り外してください。ニードルを取り外した状態で、ガンのトリガーを数回引いて、ブランジャーの先端をガンの前面から押し出してください。ブランジャーの先端から余分な材料を取り除けば、ブランジャーはスムーズに引き戻せるはずです。

3. ニードルから材料が出てこない。

- 詰まりが発生した場合は、トリガーを無理に引かないでください。ブランジャーをゆっくりと押し出してください。
- それでも解決しない場合は、ガンを冷ましてからニードルを取り外してください。ニードルを取り外した後、ガンのトリガーを数回引いて、ブランジャーの先端をガンの前面から押し出してください。
- オーバーフロー防止リングを確認してください。摩耗や損傷がある場合は、交換してください。

4. 「Err」と表示される

- ガンヘッドを少し回すと、正常な状態に戻ります。

製品のメンテナンス

1. バッテリーの交換：

- バッテリーを交換する際は、ネジを緩めてハンドルからバッテリーカバーを取り外してください。
- コネクタを引っ張り、バッテリーを取り出します；
- 新しいバッテリーに交換し、コネクタを接続してください；
- バッテリーカバーを取り付けます。

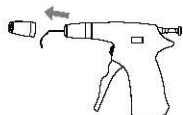


注意：

装置の損傷を防ぐため、純正のバッテリーをご使用ください。

2. ハンドピースの内部洗浄：

(1) サーマルプロテクターを取り外してください。



(3) 温度を 160℃ に設定してください。



(5) アルコールに浸したブラシを使用してください。



(2) ニードルとプランジャーを取り外します。



(4) 付属のブラシをガンの後部から押し込み、先端の出口（プランジャーがガンに最初に挿入される部分）から通して、必要に応じて清掃してください。



(4) 付属のブラシをガンの後部から押し込み、先端の出口（プランジャーがガンに最初に挿入される部分）から通して、必要に応じて清掃してください。(3) 温度を 160℃ に設定してください。(5) アルコールに浸したブラシを使用してください。(6) 消毒用アルコールとガーゼを使用してプランジャーを拭き、目に見える残留物を除去してください。

⚠ 注意：

クリーニングブラシをチャンバーに挿入する前に、洗浄剤や化学薬品をブラシにつけないでください。

洗浄および滅菌

- 表面は、柔らかいタオルと中性洗剤、または消毒用アルコールで洗浄できます。
- 患者ごとに、また損傷が確認された場合やその疑いがある場合は、針を交換することを推奨します。使用済みの針はバイオハザード用容器に廃棄してください。
- 針および熱保護カバーは、初回使用前および患者ごとに滅菌する必要があります。121℃で15分間、または135℃で4分間、オートクレーブで滅菌してください。

保管および輸送

- 保管温度：-10℃ ～ +55℃
- 湿度：10%RH ～ 85%RH
- 気圧：86kPa ～ 106kPa

保証

オペレーションガンおよび充電ベースの保証期間は12ヶ月、アダプターおよびバッテリーは6ヶ月です。その他の付属品は保証の対象外となります。

技術仕様

アダプタ	入力：100～240V / 50～60Hz
ー：	出力：DC 5V、2A
バッテリー：	DC3.7V/2200mAh
動作温度：	0 ～ 45℃
湿度：	10%RH ～ 85%RH
大気圧：	50%RH ～ 106%RH

記号の定義



クラスII機器（アダプター）



直流
タイプB機器



注意！取扱説明書をお読みくだ



さい



屋内専用

この面を上にしてください



壊れやすいので、取り扱いには



注意してください



雨にさらさないでください



WEEE



取扱説明書を参照してください